

皆さま

あけましておめでとうございます

今年もよろしく願いいたします

湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部

2019,1,6

新春ルンルン散歩

鏡山ハイキング記録

時折、小雨・小雪がりましたが、鏡山ハイキングにでかけました。歴史の深く濃い山でしたが、”説明“がたくさんあり、じっくり確認しながら山歩を楽しみました。丁寧な石積・石垣がたくさんあり、その技術に感心しながら、歴史・自然・眺望など楽しみました。「グリーンシーズンにもう一度来たいわ」とおっしゃり方もありました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆ハイキングの様子



竜王神・貴船神
小雪が少しチラつき
ました



湧き水が出ていました。



◆歴史



トンネル

薬師「経塚」にまつわる言い伝え
 亀王山の麓、薬師崎谷ダムほのほとりにあるこの小さな山は、「経塚」と呼ばれています。
 この経塚は文献もなく発掘されていないので誰かのこととは分からないが、古者の言い伝えによるとその昔、箱石千軒、牟禮千軒といつて、この亀王町西の山丘陵帯は2千戸の家があつて大盛賑やかであつたらしい。
 河も資料がないが、亡くなられた古者の話ではこの地より北側の当町大字粟よりこの大字薬師迄は「箱石山」また、この地の南側の大字小口より以南の大字山中迄は「牟禮山」とそれぞれ呼んだと言われています。
 現に当町大字箱川の光浄寺は箱石山と言ふ山号であり、また大字小口では牟禮山観音寺があります。この両寺の真ん中の大字薬師には三光山正意寺があります。
 この麓山の中腹にあつた箱石山薬冠寺は、聖徳太子の建立で大寺であつたと思われます。
 当時、大字山中村にも聖徳太子建立の牟禮山法満寺として七か寺の末寺を持つ大寺がありました。
 (末寺「大字山」上に法教寺、尊来寺、弓削寺、観音寺、薬師寺) 以上は古文書で明らかにされています。
 聖徳寺と法満寺の僧兵たちは何時も仲が悪く、双方の争いが絶えなかつたと言われており、寺を焼いたり焼かれたり、何百坪もの長い間には何回となく争いが繰り返されて来たと言われています。
 聖徳寺では焼かれた都度、焼け残りの灰をこの山に埋めたと言われています。
 焼け灰の中には経文が沢山あつたところから、この山を「経塚」と名付けられたと伝えられています。
 その当時、豊冠寺には「金の茶釜」があつたが、焼けた灰と共に捨てられたとか、それでこの地蔵の地元では経塚には金の茶釜があると古い伝えられています。



古井戸



竜王神・貴船神



◆自然観察



ネズ



ヘビノボラズ



ツルリンドウ



カクレミノ

お疲れさまでした